名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 上田

HIDA CITY

2024年3月17日　セッション1－8：公共交通計画・財源　信州大学繊維学部キャンパス21教室

飛騨市バス山之村線における貨客混載と路線見直し

発表者　松原　光也　名古屋大学大学院環境学研究科　研究員
（飛騨市地域公共交通マネージャー）
連名者　堀辺　洸介　飛騨市総務課

飛騨市と名古屋大学の連携協定

2022年1月17日　飛騨市における公共交通の利便性向上に向けた連携協定を締結

- 名古屋大学環境学研究科研究員が毎月１週間飛騨市に滞在し、公共交通の調査及び政策支援を実施

- 飛騨市の公共交通担当職員を年に数回名古屋大学へ派遣し、公共交通に関する知見の習得を図る

飛騨市職員を名古屋大学へ派遣

6/20　美濃加茂市視察（写真：バス案内システム）
6/21　名古屋大学　加藤教授　講義・セミナー聴講
8/26～28　モビリティ・マネジメント会議、バスマップサミット
　米子市・松江市視察
11/28・29　名古屋大学　加藤教授　ゼミ・セミナー聴講

その他　公共交通会議　傍聴・現地視察
　京都府笠置町、
　愛知県豊山町、新城市、
　　北設楽郡、
　長野県飯田市、
　岐阜県白川町・東白川村、
　　高山市

飛騨市（岐阜県）

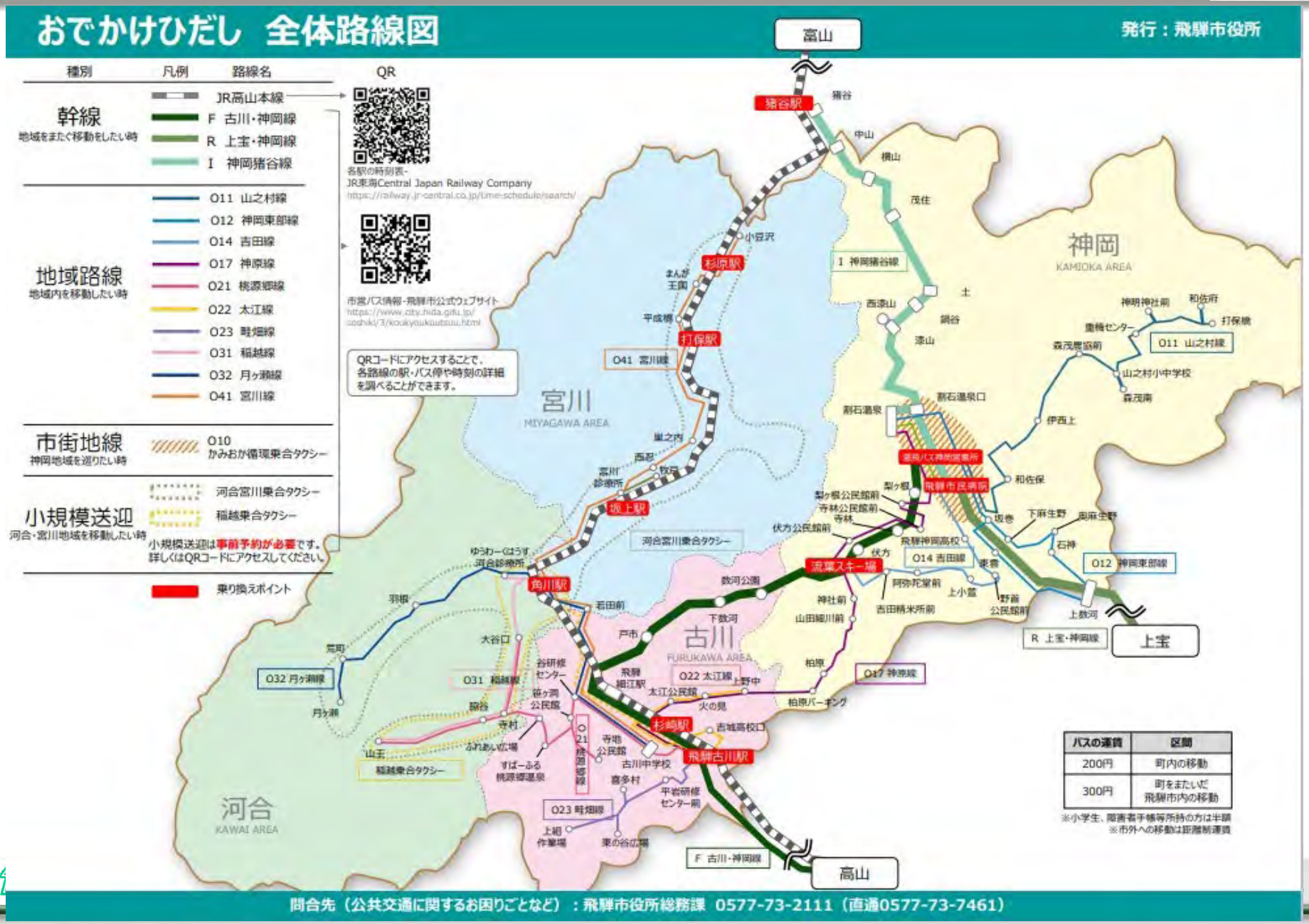
電子国土WEBをもとに筆者作成

飛騨市
人口：22,538人
面積：792.53km²
人口密度：28.4人/km²
（2020年国勢調査）

ひだまるバス
古川駅前

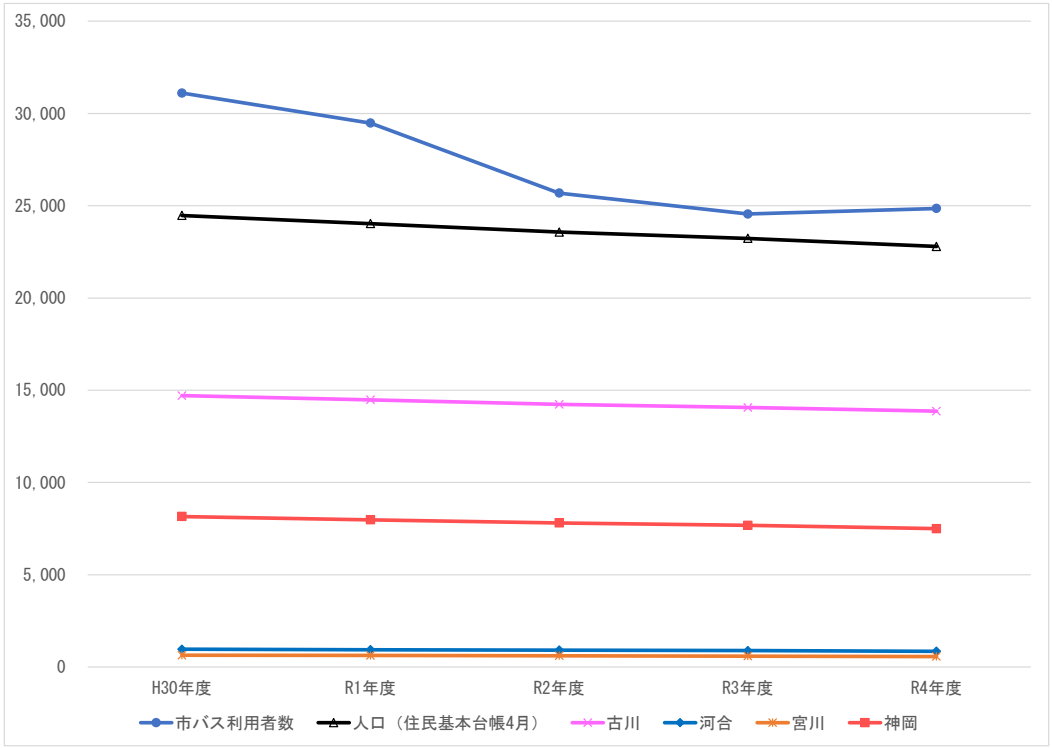
飛騨市バス全体路線図

HIDA CITY



飛騨市の公共交通の課題

- バスの時刻をWEBで検索できない
  HPに時刻表が載っているが、情報提供の問題
- １便あたりの平均乗車人数が１人をきる路線もある
  路線の存続が危ぶまれる状態に
- 路線間の乗り継ぎの
  利便性が低い
- 乗り継ぎ拠点が
  整備されていない
- 公共交通で
  通学できない地域がある



飛騨市バス利用者数と人口の推移

山之村線および地区の概要

山之村地区：飛騨市神岡地区にあり、標高約1000m
　森茂など7つの地区の総称で、過疎化が進んでいる
　人口約130人、高齢化率が約49%（2022年度末）
　特産品：山之村牧場の乳製品や食肉類、
　寒干し大根、ホウレンソウ、トマト
市バス山之村線：神岡営業所～重機センター間29.3km
　所要時間：約1時間
　運行本数：朝と夕方の2往復
　運賃：1回200円
　山間部に入って（江馬館前）からはどこでも乗降でき、
　主要ルートからはずれる停留所は予約制の運行

病院利用者調査

・5/26　飛騨市民病院利用者調査（8時～12時半）
　バス利用者　降車：17人　乗車：31人

聞き取り調査結果　総数23人（うち6人は買物）
　交通手段　車：15人（うち送迎2人）、バス：7人、徒歩1人
　バス利用者は週に2～3回利用、安い、土日が不便
使わない理由：
　使いたい時間に便がない、
　時刻を知らない、
　車のほうが便利、
　足が悪いのでバス停まで
　　行けない

令和４年度飛騨市公共交通改善事業計画

表2　令和４年度飛騨市公共交通改善事業計画

実施項目	施策		事業	番号	区分，進捗	令和４年度　実施計画
１ 地域公共交通の整備・運行	地域公共交通の運用		・地域公共交通の運用	①	新規，実施中	・バスアナウンス＆乗降記録システムの導入準備
	その他の移動手段の支援		・地域公共交通網を補完する移動手段の創出及び維持に対する支援	②	継続，実施済	・貨客混載
２ 利便性の向上	交通結節点の整備・維持		・利用環境の利便性向上 待合所・ベンチなどの設置 バス停の更新　等	③	新規、準備中	・市内全域路線図看板の設置準備
	企画乗車券の発行		・ひだまる定期券，１日乗車券，シルバーフリー定期券，回数券等の運用	④	新規，実施済	・電子チケットの導入
	車両の更新と整備		・利便性を高める車両の導入	⑤	継続，未実施	・車両更新（令和5年度以降）
			・ラッピング等のデザイン	⑥	継続，実施済	・車両ラッピング
	地域公共交通の基本的な情報提供		・バス停や待合等におけるわかりやすい案内掲示	⑦	新規，実施済	・GTFS－JPの整備，Google マップ検索
			・総合地域公共交通マップの発行	⑧	新規，実施済	・飛騨市地域公共交通路線図及び時刻表のリニューアル
			・地域，属性などの対象者ごとの時刻表発行	⑨	継続，実施済	・各町別「おでかけレシピ集」の発行
			・市のHP・広報等による情報発信	⑩	継続，実施済	・飛騨市公共交通HPページ及び観光HP
３ 利用促進	日中利用の促進	利用していない市民に対する利用促進	・市の広報，集会等での説明による，地域公共交通の必要性についての意識啓発	⑪	新規，実施済	・地域公共交通タウンミーティングの開催 ・飛騨市職員対象「地域公共交通の日」
			・市民と協働したイベントの開催（市民バスツアー，セミナー等）	⑫	継続，中止	・ひだのはたらくくるま展等への出展
			・免許返納者へのインセンティブの付与	⑬	継続，実施済	・高齢者対象いきいき券でバス利用可能
		利用している市民に対する利用促進	・目的地施設と連携した企画チケット等の検討	⑭	継続，実施済 新規，調査中	・通院支援タクシー助成 ・チケット付加サービス，協力企業の募集の推進
			・市民と協働した利用促進の検討	⑮	継続，検討中	・ひだまるグッズの制作準備
	通学利用の促進		・中高生とその保護者に対する説明会の実施	⑯	継続，実施済	・高校１日体験通学時のバス無料券配布
	来訪者に対する地域公共交通情報の提供	初めての人でも利用できる情報提供	・系統番号・路線番号・カラーリングの導入	⑰	継続，実施済	・路線系統番号のバス停反映の推進 ・路線カラーリングの見直し
		観光客向けの情報提供	・案内等の多言語化促進	⑱	新規，実施中	・多言語表記の案内表示，パンフレット作成の推進
			・観光客が利用しやすい停留所への改良（名称，設置場所等）	⑲	新規，実施済	・バス停の見直し
			・観光客向け時刻表・パンフレットの制作	⑳	継続，実施中	・観光客向けの広報
	市民・事業者等の自主的な取り組みの支援		・市民や事業者等が主導して行う地域主導型利用促進事業の支援	㉑	継続，実施済	・住民意見交換会での利用促進
４ 評価・改善	地域公共交通における評価・検証の実施		・評価・検証事業（乗降調査・利用者アンケート等）	㉒	新規，実施済	・区代表者との意見交換
			・市民アンケート調査 運行状況等の点検　等	㉓	新規，実施済	・利用状況調査，聞き取り調査
	継続的な市民参加の仕組みづくり		・住民意見交換会による運行改善に関する協議等	㉔	新規，実施済	・住民意見交換会の開催
			・利用実績の地域へのフィードバック	㉕	新規，準備中	・市広報誌にバス情報掲載
	先進的な手法や技術の導入検討		・先進技術に関する情報の収集	㉖	継続，実施済	・講習会等への参加
			・他自治体の好事例の研究	㉗	継続，実施済	・他自治体への視察，意見交換

山之村住民懇談会

- 4/21　山之村区長との意見交換
- 5/25　山之村いきいきサロンにて
  ひだまるバスについての住民懇談会開催
- 7/27　山之村いきいきサロンにてバス時刻の改良案提示
- 9/29　山之村小中学校にてバス利用状況聞き取り
- 12/21　山之村区長とのバス時刻改良案について意見交換

山之村線の課題

住民懇談会等での意見

・市民病院での滞在時間が短い
⇒朝１便が8:59に病院に到着し、受付が遅くなり診療も遅くなる。
・現行ダイヤでは市民病院で診療を受けて、薬までもらう時間がない。
・薬だけバスで運べないか。
・バスでは出発が遅いため、行きは家族に送ってもらっている。
・スーパーだけでなく、ホームセンターや薬局でも買い物したい。
・金融機関や郵便局にも寄りたい。
・病院周辺には時間をつぶすところがない。
・山之村の農家や牧場へバスで勤められるとよい。
・山之村からでも飛騨神岡高校に通えるようにしてほしい
⇒現在は、みんな下宿生活をしているが、下宿が苦手の生徒もいる。
通えるようになれば、山之村に残る生徒もいるはず。
・家からバス停まで距離がある→2023年10月　和佐府橋バス停新設
・山之村牧場へバスで行きたい（観光客需要）

山之村線の見直し：2023年4月1日ダイヤ改正

ご意見を聞くことが利用促進となり、今年9月までで前年比139%増

4月からの改善点

①市民病院での滞在時間を増やす
　朝の1便が早く到着、2便を遅く出発
　滞在時間：現状：2時間12分
　　⇒ 見直し後：3時間35分

②古川神岡線との接続により、飛騨神岡高校へも通学可能に（殿村乗り換え）

③旭ヶ丘・殿・殿村バス停へも経由することで、
　ホームセンター、薬局、コンビニ、金融機関にも行ける

④休日ダイヤの導入（平日と土日祝でダイヤが変わる）
　平日ダイヤ⇒山之村地域の方が通院、通学、買物しやすいダイヤ
　土日祝ダイヤ⇒山之村地域外の方が山之村へ行きやすいダイヤ
　山之村牧場バス停新設
　　滞在時間：現状：1時間1分（森茂南） ⇒ 見直し後：2時間24分

山之村線の見直し：2023年4月1日ダイヤ改正

表１．山之村線の運行見直し

改正前	1便(往路)	2便(復路)	3便(往路)	4便(復路)
重機センター	7:58	12:12	12:40	17:07
山之村牧場	―	(森茂から徒歩約10分)		
森茂	8:08	12:02	13:03	16:57
殿村	―	―	―	―
飛騨市民病院	8:59	11:11	13:54	16:06
神岡営業所	9:03	11:07	13:58	16:02

改正後（平日）	1便(往路)	2便(復路)	3便(往路)	4便(復路)
重機センター	7:05	12:52	13:33	17:52
山之村牧場	―	12:41	13:56	17:41
森茂	7:15	12:39	13:58	17:39
殿村	7:58	11:54	14:41	16:54
飛騨市民病院	8:10	11:45	14:50	16:45
神岡営業所	8:18	11:39	14:58	16:39

改正後（土休日）	1便(往路)	2便(復路)	3便(往路)	4便(復路)
重機センター	8:10	12:22	14:12	17:52
山之村牧場	8:20	12:11	14:35	17:41
森茂	8:22	12:09	14:37	17:39
殿村	9:05	11:24	15:20	16:54
飛騨市民病院	9:15	11:15	15:30	16:45
神岡営業所	9:23	11:09	15:38	16:39

①市民病院での滞在時間を増やす
朝の1便が早く到着、2便を遅く出発
滞在時間：現状：2時間12分
⇒ 見直し後：3時間35分

②古川神岡線との接続により、飛騨神岡高校へも通学可能に（殿村乗り換え）

③旭ヶ丘・殿・殿村バス停へも経由することで、ホームセンター、薬局、コンビニ、金融機関にも行ける

④休日ダイヤの導入
（平日と土日祝でダイヤが変わる）
・平日ダイヤ⇒山之村地域の方が通院、通学、買物しやすいダイヤ
・土日祝ダイヤ⇒山之村地域外の方が山之村へ行きやすいダイヤ
山之村牧場バス停新設
滞在時間：現状：1時間1分（森茂南）
⇒ 見直し後：2時間24分

山之村線の見直し：2023年4月1日ダイヤ改正

変更前：一般的な時刻表

変更後：時刻を大きく、
平日と土日祝日との違いを強調

山之村線の利用促進

ひだまる山之村線で 山之村牧場へ行こう！

山之村線運行車両

令和5年4月の改正により、バスで山之村牧場へ行くことできるようになりました！ ひだまる山之村線車内で山之村牧場で利用できるクーポン券を配布しています！

ひだまる山之村線を利用して山之村牧場にお越しいただいた方には
山之村牧場内レストランにて、

ビール・コーヒーのどちらか1杯200円引き
または、ソフトクリーム 50円引き

※山之村線車内でクーポン券を配布しております。クーポン券は、お会計の際にお渡しください。 クーポン券1枚につきお1人様のご利用となります

～バスで行くポイント～

- 車の運転が不安な方でもバスなら安心安全！
- 牧場自慢のソーセージバイキングでビールが飲める!!
- お子様の初めてのバス乗車に是非利用ください！
- 学生の皆さん 新たなデートスポットにいかがですか？

～山之村牧場へバスで行く際は、1日乗車券が便利です～

1日乗車券はデジタルチケットで販売中！（以下のコードを読取ください）

紙版は市役所、各振興事務所、市民病院、割石温泉、濃飛バス神岡営業所、濃飛バス古川案内所で販売中

【市全域版】往復600円/人

【町内版】往復400円/人

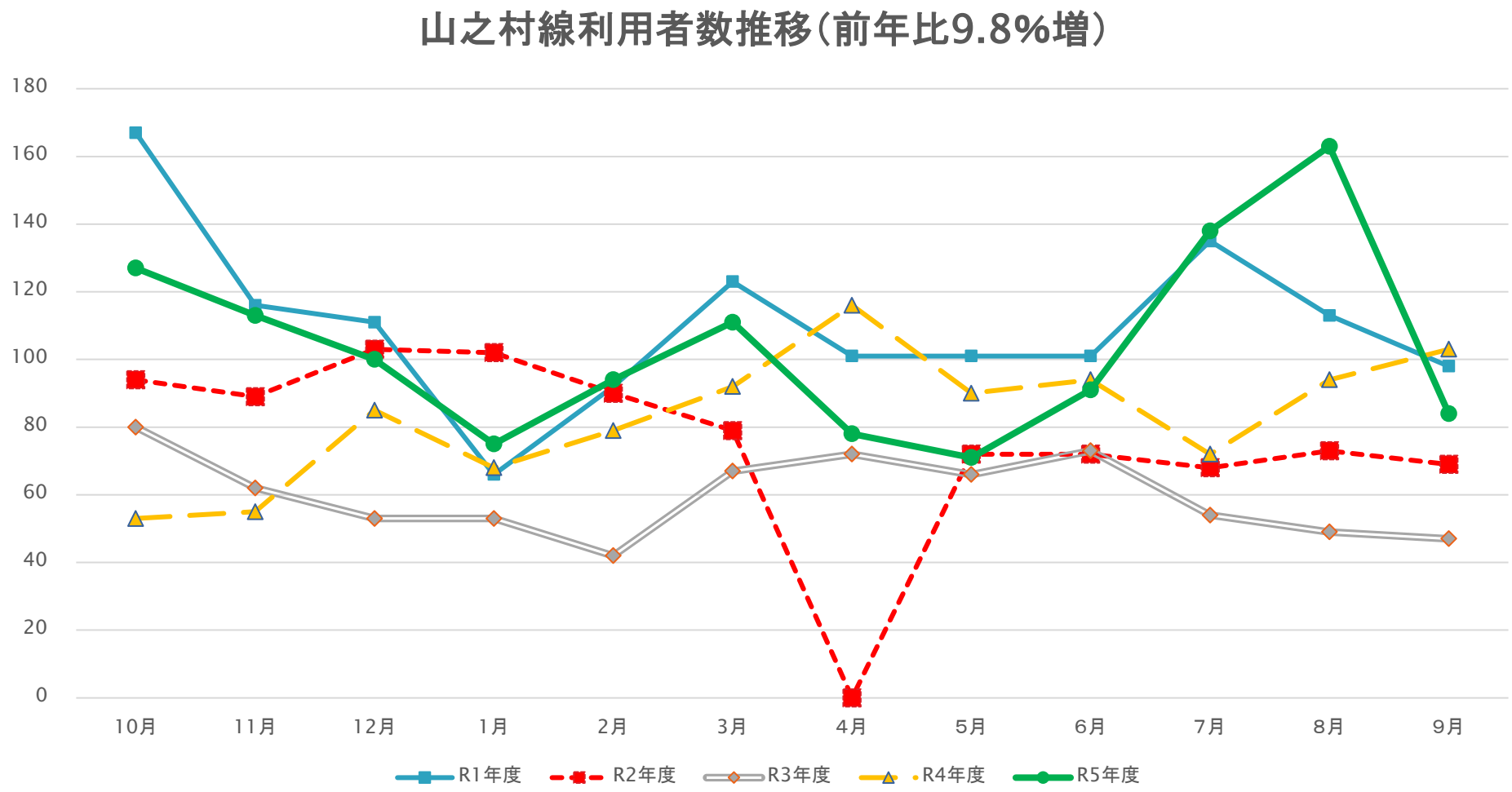
※小学生は半額、未就学児は無料です

裏面に主な行程を掲載しておりますのでご参考ください

※山之村牧場キャンペーン
2023年7月より
バス利用者には牧場レストランでソフトクリームやビール・コーヒーを割引くサービス

※山之村小中学校
夏休みの学童保育で神岡小学校への移動に児童が利用

山之村線の見直し：2023年4月1日ダイヤ改正



※R2年度4月：緊急事態宣言、
※R4年度4月：ダイヤ改正　※R5年度7月～　山之村牧場キャンペーン

山之村線貨客混載実証実験

・令和3年　移動販売の民間事業者が地区から撤退
・コープ岐阜で商品を注文する会員がおり、神岡まで取りに行く
　サポーターの労力が大きい（週1回）
⇒山之村線のバスに商品を載せ、サポーターは地区内の配送のみ
　買い物弱者支援事業として実施

2．これまでの経緯とこれからの予定

	内　容
令和３年１１月	コープぎふ、濃飛バスとの個別協議
令和３年１２月	ひだまる山之村線車両の積込テスト
令和４年　３月	積み下ろし場所現場確認
令和４年　５月	テスト運行実施
令和４年　９月	貨客混載実証実験開始

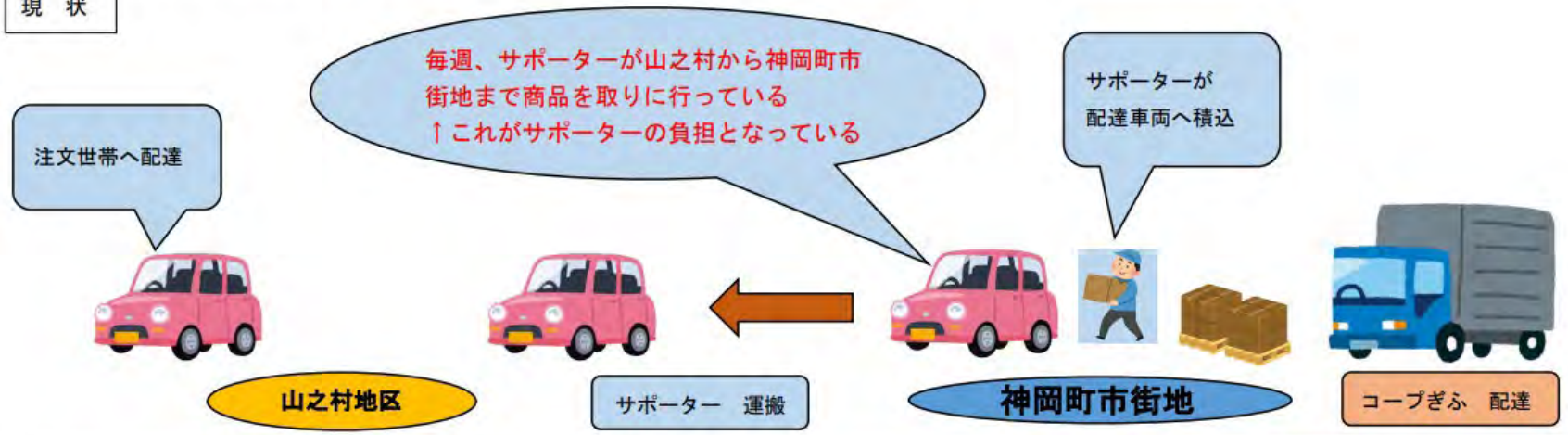
・実験結果2022年
10月（4回）　65人
11月（5回）　89人
12月（5回）　65人
座席4人分（後2例）
荷物が多くなり、
前列にも置くことに
→2023度本格実施
9月までで述べ442
人の利用

山之村線貨客混載実証実験

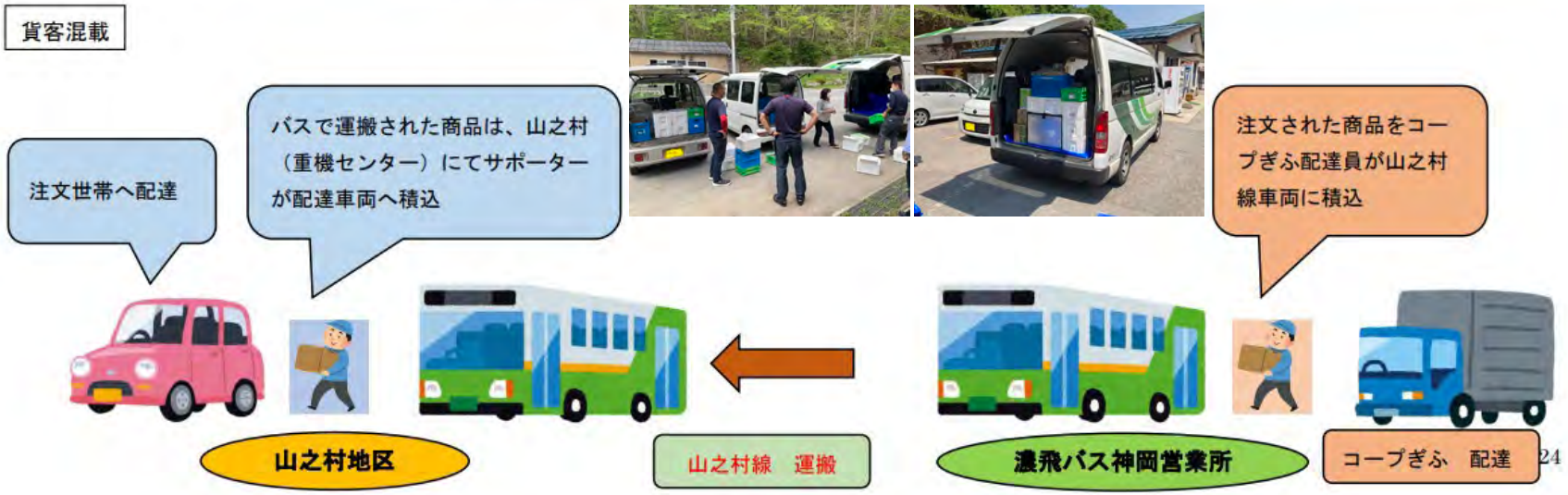
HIDA CITY

ひだまる山之村線　貨客混載のイメージ

現　状



貨客混載



名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

山之村線貨客混載

・実験結果2022年
　10月（4回）　65人
　11月（5回）　89人
　12月（5回）　65人
　↓
・2023度本格実施
　9月までで述べ442人の利用
　荷物が多くなり、座席4人分（後2例）で
　足りず、前列にも置くことに

・総積載重量：7600kg→累計65 kg-CO2の排出量削減効果

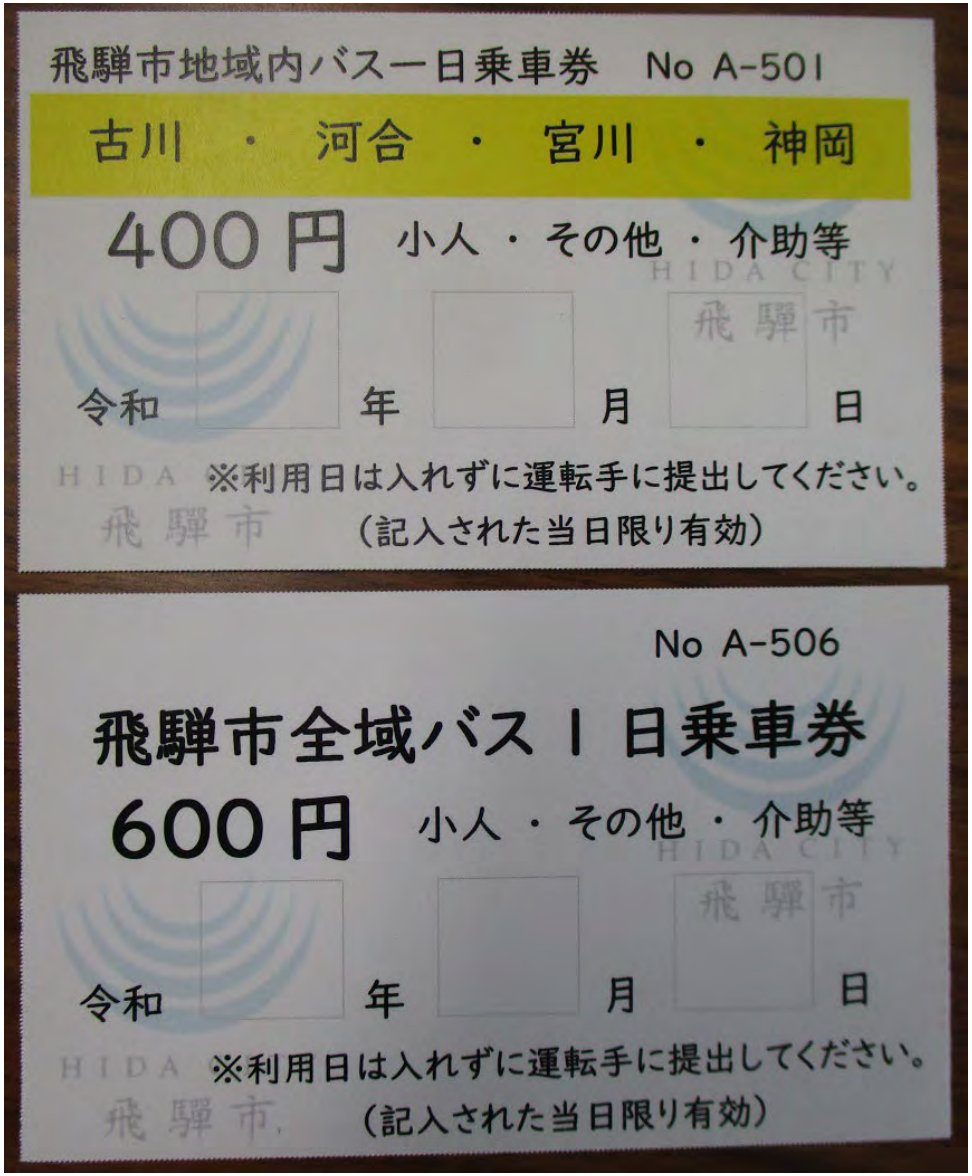
全国通運連盟HP　CO2排出量計算ページ
（https://www.t-renmei.or.jp/co2/calc.php）
1回あたり2.5kg-CO2の排出量削減

まとめ

(1)過疎地では運行本数が限られているため、
　利用者の対象や目的に応じたサービスとする
(2)利用実態の調査に加え、住民、学校関係者、
　観光施設などの関係者から問題点や要望を聞き取る
(3)ただ要望を聞くのではなく、効果的な改善点にしぼる
(4)改善した効果を宣伝し、利用促進につなげる
(5)改善後も利用実態の調査や聞き取りを続け、
　検証と改善を続ける

山之村線においては、通院・買物・通学の足を確保、
　観光資源の活用、運行車両の有効活用
　ただし、過疎化の進行は既に止められない段階にあり、
　観光客・移住者の誘致や特産品の販売促進が必須

飛騨市内バス１日乗車券



旧町内の移動
　１回乗車200円区間
　→400円
旧町界をまたいだ移動
　１回乗車300円区間
　→600円

ひだまるバスと濃飛バス
両方使える

ただし、車内では買えない
役場や濃飛バス営業所、
市民病院のみ購入可

飛騨市１日乗車券　ＲＹＤＥパス

12/12　電子チケット　RYDEパス　運用開始
スマホで飛騨市バスの１日乗車券が購入可能

企画乗車券のイメージ

飛騨市公共交通会議

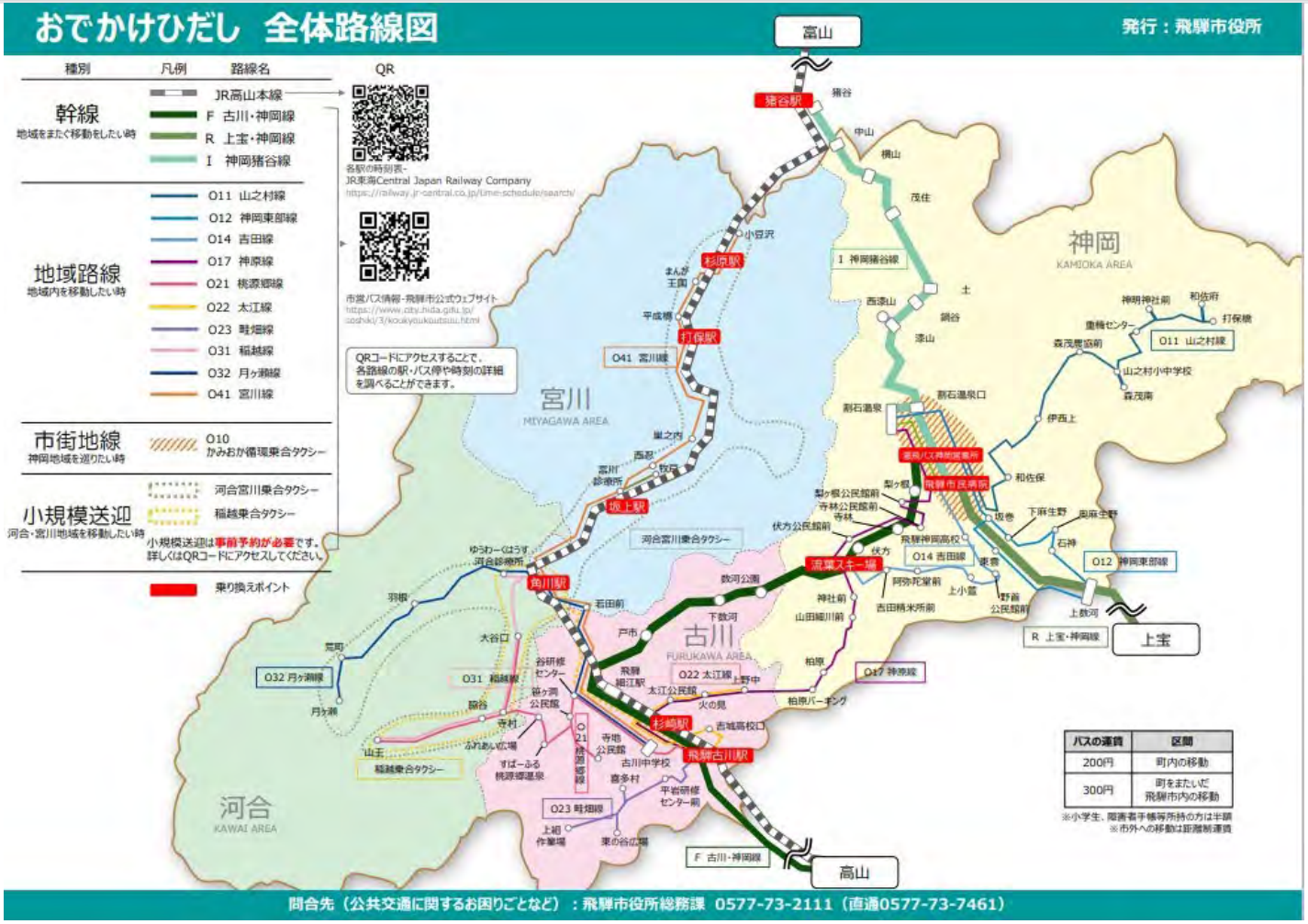
飛騨市全域または飛騨市
各町内を、デジタルチケット
として運用できます。

身体障害者手帳をお持ちの
方またはその介護人の方は
割引価格でご利用できます。

購入後は、利用可能な
チケットを一覧の中から
選びます。

ご利用方法は、
チケット画面を乗務員に
「見せるだけ」です。

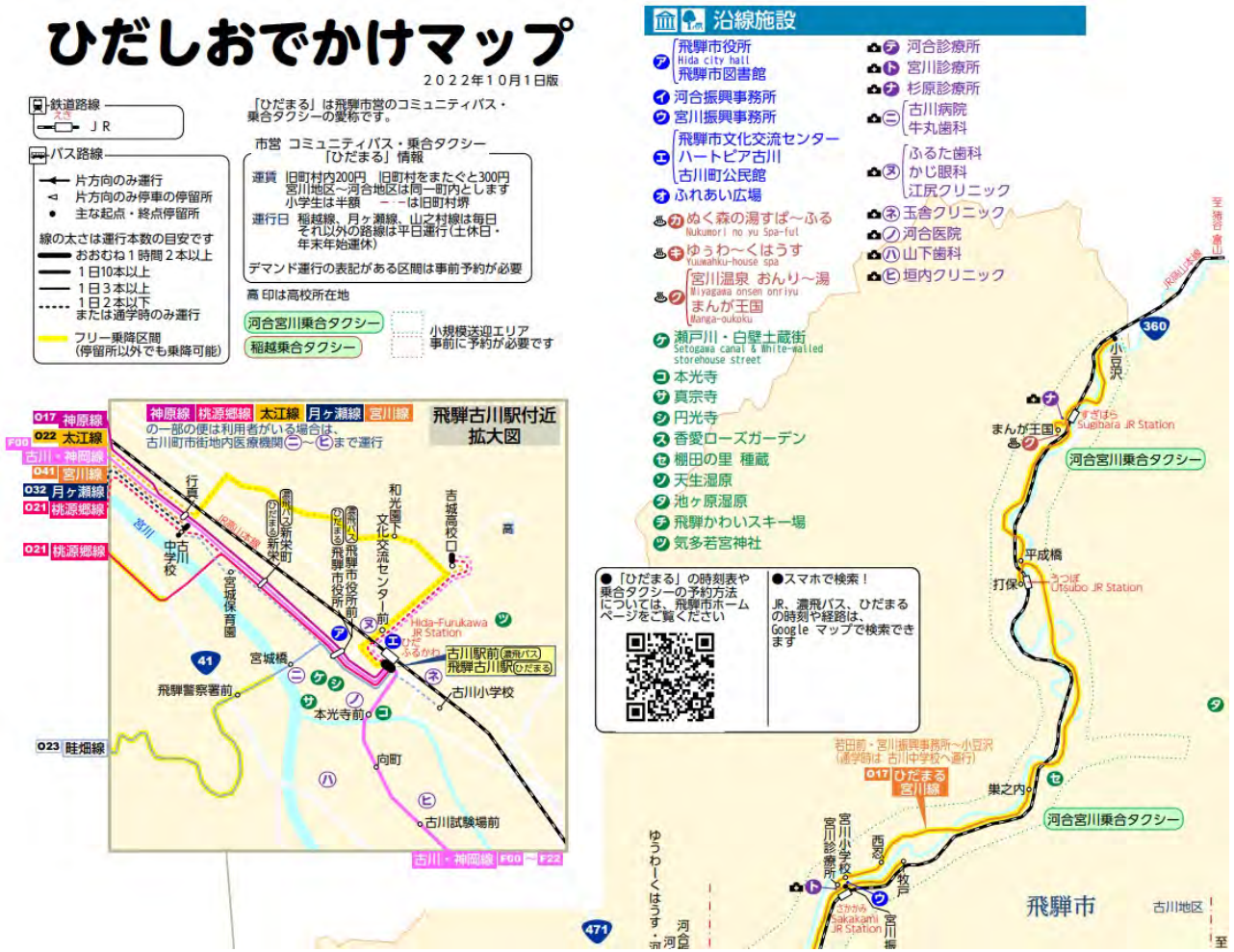
飛騨市バス全体路線図



利点：バス路線のおおまかな概要を知るのに適している

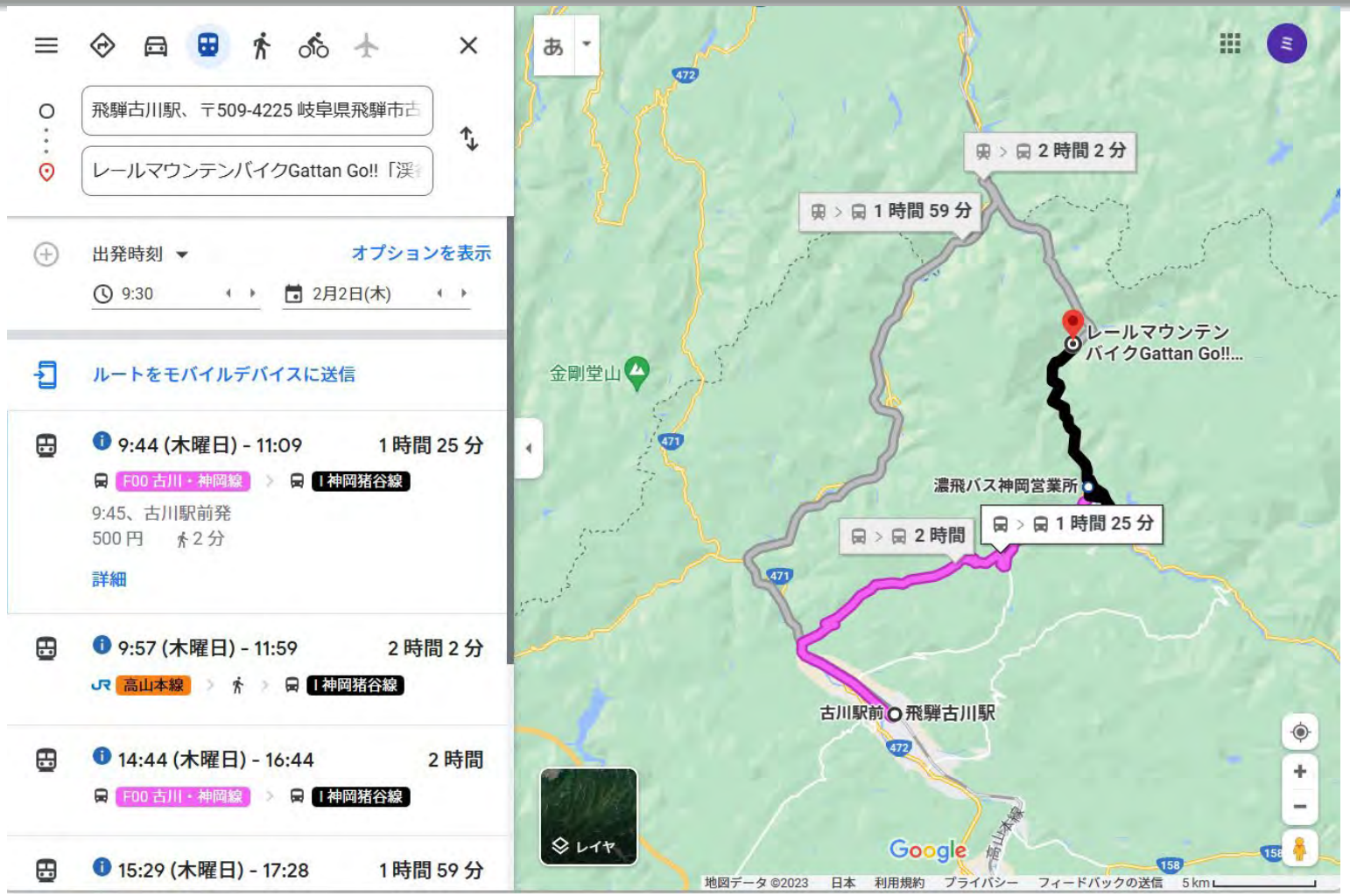
欠点：全てのバス停がわからない

ひだしおでかけマップ（協力：公共交通利用促進ネットワーク）



利点：全てのバス路線や系統・バス停や施設の位置を把握できる
欠点：全体の概要を知るには細かすぎる

Google マップ でバスの運行時刻を検索



利点：出発地から目的地までの行き方・運行時刻が検索できる

欠点：必ずしも自分の目的の路線が検索できるとは限らない